

# 平成24年度 大阪市立矢田北小学校 学校関係者評価書<総括表>

大阪市立矢田北小学校 学校関係者評価委員会

## 学校関係者評価(全体のまとめ)

全教職員が協力して様々な取り組みを進めている雰囲気職員室から感じられた。教員が様々な指導の工夫をして授業に取り組む熱意が児童を育てる大切な要素である考える。今後教職員で協力し、児童が興味を持って取り組める教育を推進することが大切である。

## 学校関係者評価(項目別)

<b>ア 学校経営の重点</b> 学校だよりからは学校の様子がわかるので、今後も情報発信して行ってほしい。ホームページもまた、みてみたい。	<b>イ 学習指導の重点</b> 道徳教育や人権教育を継続的に取り組んでいるのが良かった。また、習熟度別少人数授業も成果を一定の成果をあげた。今後さらに、道徳教育をすすめていくことを期待する。
<b>ウ 生活指導の重点</b> 遊具を大切に使い、後片付けができるようになってきたのはとてもよいことである。あいさつも自分からすすんでどんどんできるようになってもらいたい。	<b>エ 保健管理・指導の重点</b> 水泳・なわとび・駆け足・スポーツ大会など児童が様々な運動に慣れ親しむことができているのはとてもよい。今後も継続して取り組みをすすめることを期待する。
<b>オ 研修の重点</b> 全教職員が研究授業を行い、長期休業期間中にも研修会を行うなど、学校として教職員の資質向上に努めていることが良く分かった。今後も継続して取り組んでほしい。	<b>カ 人権教育学習の重点</b> 車いす体験や手話学習・視覚障がい者の方との交流など実際に様々な体験を通して人権の大切さを学ばせていることがよく分かった。今後も継続して取り組みをすすめてもらいたい。

## 今後の改善方策

児童が自ら学校生活をよりよくしようとし、意欲的に学習していくように指導を工夫していく必要がある。そして、学校・家庭・地域が連携してさらに子どもたちに関わっていく必要がある。また、学校評議員についても、様々な立場から意見が集約できるような体制を工夫する。